

平成30年度 前期入学式 式辞

春爛漫の今日の佳き日、ここに兵庫県立西宮香風高等学校平成30年度前期入学式を挙行できますことは、本校にとって、この上もない喜びとするところです。本校の教職員を代表いたしまして厚く御礼申し上げます。



ご来賓の皆様にはご多用の中ご臨席を賜りましたこと誠にありがたく、高いところからではございますが厚く御礼申し上げます。

入学のこの日を心待ちしておられた保護者の皆様、ご家族の皆様、本日は誠にめでとうございます。

先ほど入学を許可しました229名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

本校は平成13年に、全国でも最先端の多部制単位制高等学校として、ここ西宮の地に誕生しました。桜の名所である夙川の河口に広がる香櫨園浜の風が香る「香」と、多部制単位制という弾力的な教育課程を生かした教育内容から生まれる学びの「風」が広がることを期待して、「西宮香風」と命名されました。本年はその創立から18年目を迎え、すでに2,595名に及ぶ卒業生が未来に向かって飛躍し、巣立っています。皆さんもこの「香る風」を受けて、自らの未来を切り開いてください。

これから香風高校で学ぶ皆さんに、本校の特色を桜にたとえて、ふたつお話をしたいと思います。

ひとつめのお話です。桜には多くの種類がありますが、ソメイヨシノという種類の桜は、同じ時に一斉に花開くという性質があります。今年は、例年になく春の訪れが早かったため、すでに夙川沿いや校内の桜は、葉桜となってしまいました。しかし、日本列島全体ではどうでしょうか。ようやく東北の桜が見頃を迎えたというニュースを耳にしたところで、北海道の桜はまだ堅いつぼみが開花の準備しているところでしょう。このように同じソメイヨシノでも、気候などの条件によって咲く時期は異なりますが、それはそれぞれの桜の木が、自分が咲く時期をちゃんと知っているからです。

香風高校は、桜の木が自らの咲く時を知っているように、ひとりひとりが「自分の将来の夢」という花を咲かせるために、他人と比べることなく、自分のペースで着実に学びを深めることのできる学校です。

ふたつめのお話です。皆さんは奈良県の吉野山という桜の名所を知っていますか。4月上旬から中旬にかけて咲き乱れる桜は、3万本ともいわれています。吉野山には、ヤマザクラを中心にソメイヨシノや、早咲きのシダレザクラ、遅咲きのボタンザクラなど数百種類もの桜があるそうです。それぞれの桜は咲く時期も異なりますし、花の色も「桜色」とひとことで言っても、ヤマザクラの黄色っぽいピンク色から、ボタンザクラの濃いピンク色まで、山全体のグラデーションの美しさが吉野山の最大の魅力といえます。

吉野山にたくさんの種類の桜があるように、香風高校では同じ「高校生」といっても、働きながら学ぶ者、異なる年齢の者、異なる学習歴を持つ者など様々で、その多様性が香風高校最大の特色であり、魅力です。同時に、多様性を重んじ、互いの個性を尊重していくために、ルールを守り、マナーを身につけることも重視しています。

さて、入学生の皆さんは、今どのような気持ちでいるのでしょうか。きっと、高校生活への期待と不安が入り交じっているのではないかと思います。香風高校には、皆さんがつまずいたり、壁にぶつかったりした時に、一緒に考えてくれる先生方がいます。そっとそばに寄り添ってくれる友人も、やがてできるでしょう。どうか安心して、高校生活の第一歩を踏みだしてください。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日より皆様の大切なお子様をお預かりすることになりました。卒業時には本校に入学させてよかったと喜んでいただけるよう、私ども教職員一同、全力をあげてお子様の教育に取り組む所存でございます。教育は家庭と学校が連携してこそ実を結ぶものです。どうか本校教育活動に対するご理解ご協力、そしてご支援を賜りますようお願いいたします。

本日、入学された皆さん全員が本校で充実した日々をすごされ、人として確かな成長を遂げられますことを祈念して式辞とします。

平成30年4月9日

兵庫県立西宮香風高等学校長

石川 照子